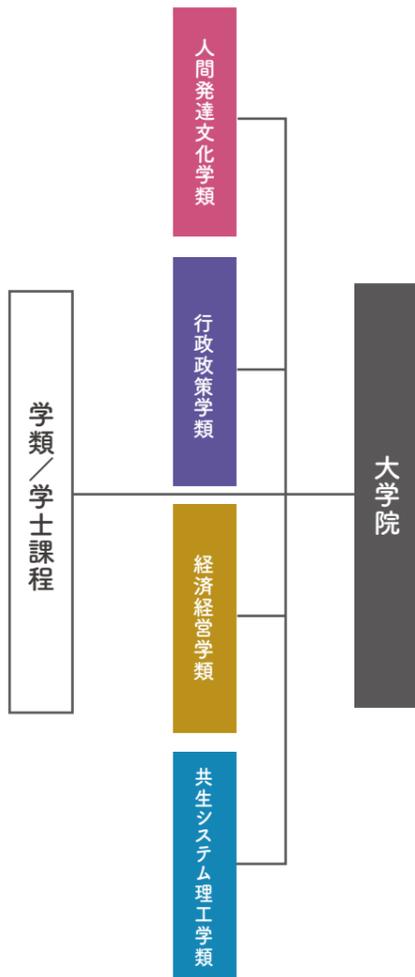


大学院

大学院には人間発達文化研究科、地域政策科学研究科、経済学研究科、共生システム理工学研究科の4つの研究科をおき、高度な教育研究活動を展開。各研究科の専門性を活かした高度専門職業人・研究者を育成しています。また、社会人にも門戸を開き、社会人特別入試、昼夜開講制、長期履修制度、土日集中開講などを導入することで、スキルアップ、修士号、博士号取得などに意欲的な社会人のニーズにも対応します。東日本大震災以降、「福島」の使命として、災害復興、食と農の問題、再生可能エネルギーなどに対応したプログラムを設けることで、地域社会にとどまることなく、グローバルな視点で、世界に起こり得る諸課題に先進的に取り組みます。



人間発達文化研究科

[専門職学位課程・修士課程]

人間発達文化研究科は、地域の抱える課題を克服し、次世代を切り開いていくために、学類の教育理念をさらに発展させ、今日必要とされる高度な知識・技術を持って人材育成を図る「人材育成のエキスパート」を養成します。



[専門職学位課程] 教職実践専攻(教職大学院)

- ミドル・リーダー養成コース
- 教育実践高度化コース
- 特別支援教育高度化コース

学校現場にあるさまざまな教育的課題に取り組みながら、学校改革、授業改革に結びつける実践研究を行い、福島の未来を創造する独自の教育を創出できる高度な専門性を持つ(ミドル・リーダー)の養成を目指します。

[修士課程] 地域文化創造専攻

- 人間発達支援領域
- 数理科学領域
- 日英言語文化領域
- スポーツ健康科学領域
- 地域生活文化領域
- 芸術文化領域

専門的学問分野における研究・実践力を形成するとともに、地域支援に必要なコーディネート力及び人材育成力を合わせ持つ(地域支援エキスパート)の養成を目指します。

学校臨床心理専攻

- 臨床心理領域
- 学校福祉臨床領域

教育、医療、福祉、司法・犯罪などさまざまな分野で心理支援を行う臨床心理士・公認心理師の養成を目指します。

地域政策科学研究科

[修士課程]

専門領域は5つの履修分野によって構成されています。分野横断的で学際的な研究環境を活かし、地域社会の諸問題に政策的に対応し、地域社会の発展に寄与できる高度な知識を持った人材を養成します。



地方行政

政治学・行政学の基礎理論及び地方自治体の行政を具体的な制度や実態に即しながら法的・政治的側面から研究します。

行政基礎法

地域の行政の基礎となっている法制度を理論的かつ具体的に研究します。

地域文化

地域生活の基礎となる地域社会の諸側面を、地域文化として総括する方法について研究するとともに、社会情報について理論的かつ実証的に研究します。

社会経済法

地域社会における社会的・経済的諸問題を法的側面から具体的に研究します。

社会計画

社会の基本構造の把握やそれに基づく地域社会の構造的課題の把握を踏まえ、地域社会の再建、活性化に不可欠な社会計画について、特にそれを政策化する視点から研究します。

経済学研究科

[修士課程]

経済学研究科は経済学専攻と経営学専攻から構成されています。きめ細やかな指導と教育により、地域に密着しつつも世界的視野に立つ高度な職業人の養成を目的としています。



経済学専攻

本専攻では、経済学のさまざまな理論や手法をしっかりと身につけながら、自分のテーマに沿った研究を行います。制度や政策を深く理解したり、物事を

歴史的に考察したり、国際社会や地域、市場や産業の諸問題を掘り下げたりし、理論的・実証的な分析に取り組み、論理的思考力を磨きます。

経営学専攻

本専攻は、経営学(狭義の経営学)と会計学に二分されます。経営学と会計学について、さまざまな受講生のニーズにこたえるため、研究者による理論的

な講義だけでなく、実務家による実践的な講義も提供しています。

共生システム理工学研究科

[博士前期課程・後期課程]

「共生」の観点からさらに専門性を深化させ、新しいシステム科学を構築、発展、継承できる人材と、これらの課題解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を養成します。



共生システム理工学専攻

共生システム理工学専攻では、人-産業-環境における共生のための新たなシステム科学の構築を志し、課題解決に向けて積極的に挑戦しようとする強い意欲を持つ人材を養成します。

環境放射能学専攻

環境放射能学専攻では、人工及び天然放射性核種の環境中の動態を解明し、計測、モニタリング計画、制御、予測、評価などに中長期的視点で総合的に取り組みます。積極的に挑戦しようとする強い意欲を持つ人材を養成します。

博士前期課程

■ 数理・情報システム分野

数学、情報科学、経営システム工学、及びそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究を行っています。

■ 物理・メカトロニクス分野

物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、及びそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究を行っています。

■ 物質・エネルギー科学分野

化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、及びそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究を行っています。

■ 生命・環境分野

生物学、心理学、地学、気象学、水文学、及びそれらを基礎とする生命・環境分野の研究を行っています。

博士後期課程

■ 共生数理システム領域

さまざまな産業分野において地域社会のニーズに応え、人と共生可能な工学系システムの創出を支える能力を養成することに取り組みます。

■ 共生環境システム領域

持続循環型産業システムの創生、自然環境システムの解析・予測・保全、人間環境システムの管理・計画、人間の心理・生理を解明する能力の養成に取り組みます。

博士前期課程

■ 生態学分野

生態学、生物学、またはそれらを基礎とする放射生態学分野の研究を行っています。

■ モデリング分野

地球科学、現象数理学、またはそれらを基礎とする放射能モデリング分野の研究を行っています。

■ 計測分野

化学、物理学、機械工学、電気工学、またはそれらを基礎とする放射能計測分野の研究を行っています。

博士後期課程

■ 環境放射能領域

放射性核種の環境中の動態を解明し、予測評価、環境修復、放射線防護、廃炉、中間貯蔵、浄化など複数の課題解決に活用できる実践的かつ総合的な研究に取り組みます。

福島大学大学院改組

2023(令和5)年度設置申請中

地域・社会の課題を解決し“新しい社会づくり”を提案できる大学院へ
 ～ 地域および世界の「21世紀的課題」に取り組むイノベーション人材の育成 ～

福島大学大学院は、震災・原発事故からの復興・再生や新しい社会づくりを担う、高度専門職業人(イノベーション人材)を養成するため、2023(令和5)年度の大学院再編を計画しています。

- 新しい大学院の特徴
- 大学院に、プロジェクト型カリキュラムを導入し、実践的な力を身につける(地域未来デザインセンターとの連携)
 - 専門性と学際性・俯瞰性のバランスをとり、「総合知」の修得をめざす(研究科の新設、再編、融合)
 - 「イノベーション系科目」により、変革を起こす力を身につける(イノベーション・リテラシー、イノベーション・コアなどの共通科目)

福島大学大学院の基本理念

福島大学は、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故という未曾有の災害を経験した福島に立地する唯一の国立大学として、避難者・被災者に対する多方面にわたる支援、放射能の動態把握、復興計画の策定、福島農業の再生などに取り組むとともに、その経験や教訓を教育研究に活かしてきました。

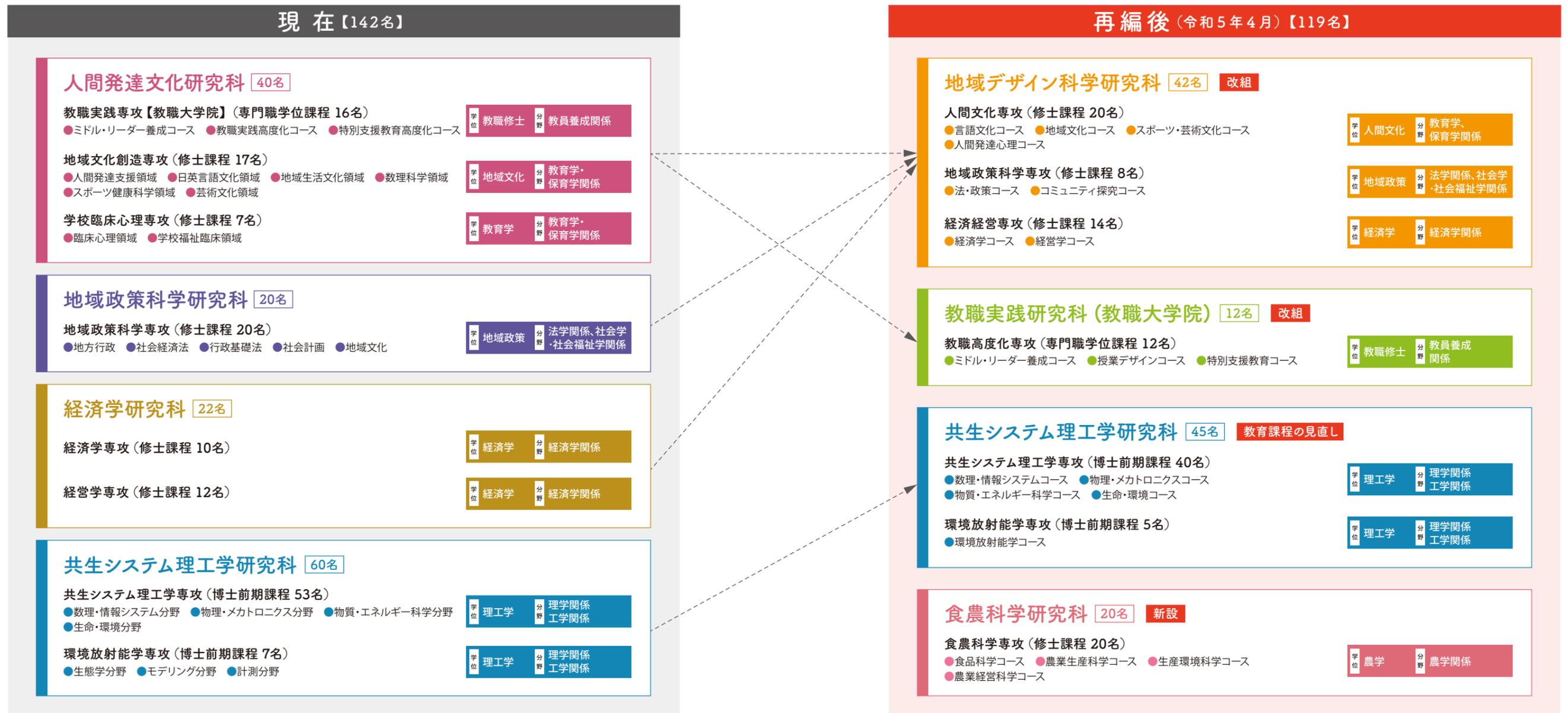
震災・原発事故から10年以上が経過しましたが、福島県はいまだに復興・再生の途上にあり、さらには、人口急減・超高齢化の中での地方創生、新型コロナウイルス感染症、気候変動などへの対応など、21世紀的課題に直面しています。福島大学大学院は、「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」として、コミュニティの再構築、地域文化の継承、再生可能エネルギーへの転換、農林水産業の再生と新産業の創出、新しい時代を主導する人材の育成などによって、福島を復興・再生させ、震災・原発事故をもたらした旧来の社会の構造的転換を図ることを目指しています。また、都市型の文化や経済発展を前提とした一元的な価値観から脱し、経済の低成

長時代を人間的かつ創造的に生きていくために、少子高齢化時代の地方の「新しい社会づくり」、すなわち「地域分散型の循環共生社会」を理論化・モデル化し、それを日本中へ、世界中へと発信します。そして、人文・社会・自然の知識・技能を融合しながら専門分野における研究を深め、自然との共生のなかで、一人ひとりが豊かに、希望に満ちて生きていけるライフスタイルを創造し、個人のWell-being、社会のWell-beingの実現に貢献していきます。

福島大学大学院は、2023年4月、地域デザイン科学研究科、教職実践研究科、共生システム理工学研究科及び食農科学研究科の4研究科に再編する予定です。各研究科は、福島大学大学院としての共通理念のもと、それぞれの専門分野に立脚して、これまでの常識や慣例にとらわれることなく、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力をもって、地域及び世界の21世紀的課題に果敢に挑み社会に変革をもたらす、「イノベーション人材(高度専門職業人)」の養成に取り組んでいきます。

福島大学大学院の再編について

修士課程・博士前期課程・専門職学位課程



※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。